

2024年度  
入学試験問題

数 学

2月11日

注意事項

1. 文字式で答えるものは、最も簡単な形で表しなさい。
2. 答えに分数が含まれるときは、それ以上約分できない形で表しなさい。
3. 比で答えるものは、最も簡単な整数比で表しなさい。
4. 答えに根号が含まれるときは、根号の中を最も小さい自然数にしなさい。

受験番号	氏 名

中村高等学校



1 次の問いに答えなさい。

(1)  $(-2)^3 - (-9) \div \frac{3}{2}$  を計算しなさい。

(2)  $-3(x-2) + 6(2x+5)$  を計算しなさい。

(3)  $(x+4)(x-4) - (4-x)$  を因数分解しなさい。

(4)  $\frac{\sqrt{24}}{3} + \frac{\sqrt{2}}{\sqrt{3}}$  を計算しなさい。

(5) 1次方程式  $2(0.2x+1) = x-0.4$  を解きなさい。

(6) 連立方程式  $\begin{cases} 3x+y=6 \\ -x+3y=8 \end{cases}$  を解きなさい。

(7) 2次方程式  $x^2+6x-3=0$  を解きなさい。

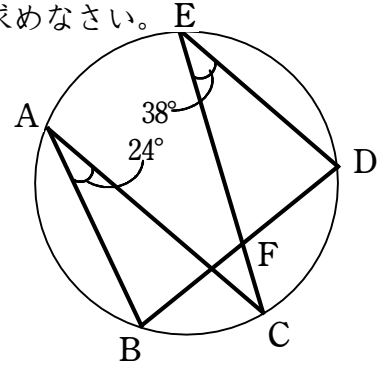
2 次の問いに答えなさい。

- (1) 2つの数  $x, y$  について、 $x$  の2倍は  $y$  より1小さいとき、 $y$  を  $x$  の式で表しなさい。
  
- (2) 84 に出来るだけ小さい自然数  $n$  をかけて、ある自然数の2乗になるようにするとき、自然数  $n$  を求めなさい。
  
- (3)  $x$  についての1次方程式  $\frac{x-a}{2} = 1 - \frac{x+a}{3}$  の解が2であるとき、 $a$  の値を求めなさい。
  
- (4) 縦の長さが6 m、横の長さが8 m の長方形の花だんがあります。この花だんの縦と横の長さをそれぞれ  $x$  m のばして、面積がもとの花だんの面積の  $\frac{5}{2}$  倍になるようにするとき、 $x$  の値を求めなさい。
  
- (5) 100 円、50 円、10 円の硬貨1枚ずつを同時に投げるとき、表が出た硬貨の金額の合計が60 円以上になる確率を求めなさい。
  
- (6) 袋の中に、大きさが等しい白玉と黒玉が合わせて500 個入っています。これをよくかき混ぜてから25 個の玉を取り出したところ、白玉が16 個、黒玉が9 個でした。このとき、袋の中にある白玉の個数を推定しなさい。

3 次の問いに答えなさい。

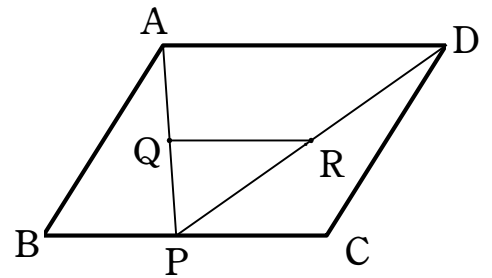
(1) 右の図で、点 A, B, C, D, E は円周上の点であり、 $\widehat{CD} = \widehat{DE}$  である。

線分 BD と線分 CE の交点を F とするとき、 $\angle CFD$  の大きさを求めなさい。



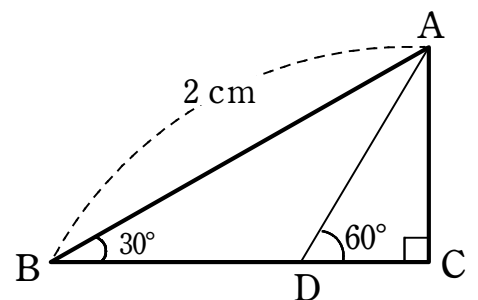
(2) 平行四辺形 ABCD の辺 BC 上に点 P をとり、線分 AP, DP の中点をそれぞれ Q, R とする。

平行四辺形 ABCD の面積が  $40 \text{ cm}^2$  であるとき、 $\triangle PQR$  の面積を求めなさい。



(3) 右の図のように、 $AB = 2 \text{ cm}$ ,  $\angle B = 30^\circ$ ,  $\angle C = 90^\circ$  の直角三角形 ABC がある。

辺 BC 上に  $\angle ADC = 60^\circ$  となるように点 D をとる。 $\triangle ABD$  を、直線 AC を軸として 1 回転させてできる立体の体積を求めなさい。



4 100 円硬貨と 50 円硬貨だけが入った貯金箱に、合計 1000 円入っています。

この貯金箱から、100 円と 50 円硬貨を何枚かずつ取り出して、それをすべて 10 円硬貨に両替して貯金箱に戻すと、貯金箱の中の硬貨の枚数が 67 枚増え、全部で 79 枚になりました。

はじめに貯金箱の中に入っていた 100 円硬貨と 50 円硬貨の枚数を、それぞれ  $x$  枚、 $y$  枚とするとき、次の問いに答えなさい。ただし、(3)は求める過程もかきなさい。

(1)  $x, y$  を使って連立方程式を作りなさい。

(2) (1)の連立方程式を解き、はじめに貯金箱に入っていた 100 円硬貨と 50 円硬貨の枚数を求めなさい。

(3) 取り出した 50 円硬貨が 1 枚だったとき、取り出した 100 円硬貨の枚数を求めなさい。

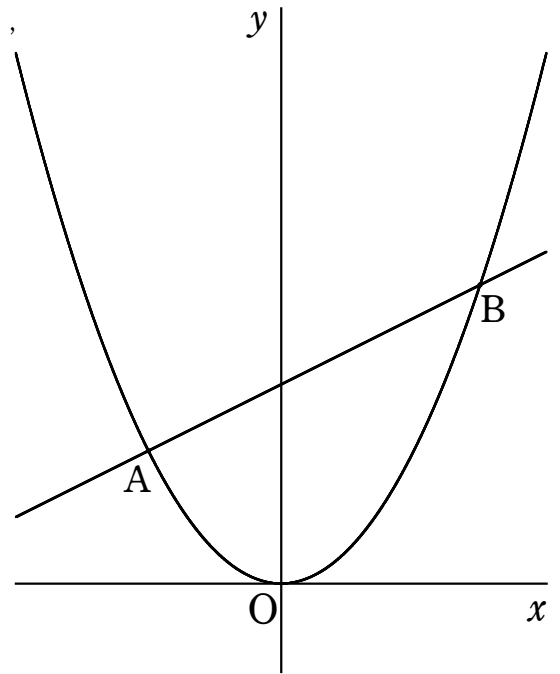
5 右の図のように、点A, Bは、放物線  $y = \frac{1}{2}x^2$  上の点であり、

2点A, Bの  $x$  座標はそれぞれ  $-2$ ,  $3$  です。

このとき、次の問いに答えなさい。

ただし、(3)は求める過程もかきなさい。

(1) 2点A, Bを通る直線の式を求めなさい。



(2)  $\triangle OAB$ の面積を求めなさい。

(3) 放物線上に、 $\triangle OAB = \triangle PAB$ となる点Pの座標をすべて求めなさい。

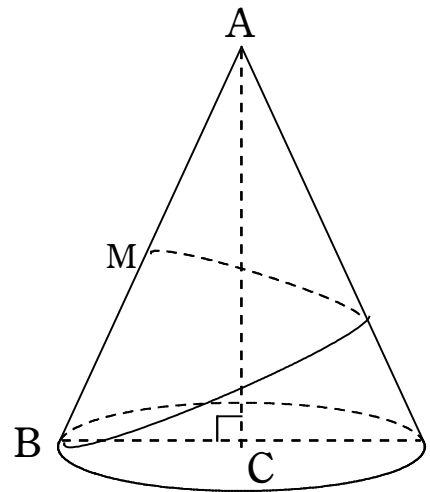
ただし、点Pは原点とは異なる点とします。

6 右の図のように、 $AB=4\text{ cm}$ 、 $BC=1\text{ cm}$ 、 $\angle ACB=90^\circ$  の円錐があります。

点Mは線分ABの中点です。このとき、次の問いに答えなさい。

ただし、(3)は求める過程もかきなさい。

(1) 円錐の体積を求めなさい。



(2) 円錐の表面積を求めなさい。

(3) 点Mから側面に沿って点Bまでゆるまないように糸をかけます。

糸の長さが最も短くなる時、その糸の長さを求めなさい。



このページには問題は印刷されていません。

このページには問題は印刷されていません。